

ホソカワコーポレーション 導入事例

監視カメラの通信品質改善を契機に 先を見据えたネットワーク基盤を構築



お客さまに販売する大切なクルマを保護するため、東西の店舗や倉庫をカバーする監視カメラシステムを展開。ところが、高画質ゆえのトラフィック増が業務トラフィックを圧迫するようになってしまいました。そこでNTT 東日本が提案したのが、WAN 環境を改善する3つのソリューションです。費用対効果とフレキシブルな WAN 接続を期待されて、Managed SD-WAN が選ばれました。

背景

監視カメラのトラフィックが業務トラフィックを圧迫

提案

Managed SD-WAN を含む「松」「竹」「梅」3パターンから選択

効果

監視カメラシステムが本来の能力を発揮

展望

デジタル化の加速に欠かせないネットワーク基盤として期待

背景

監視カメラのトラフィックが業務トラフィックを圧迫

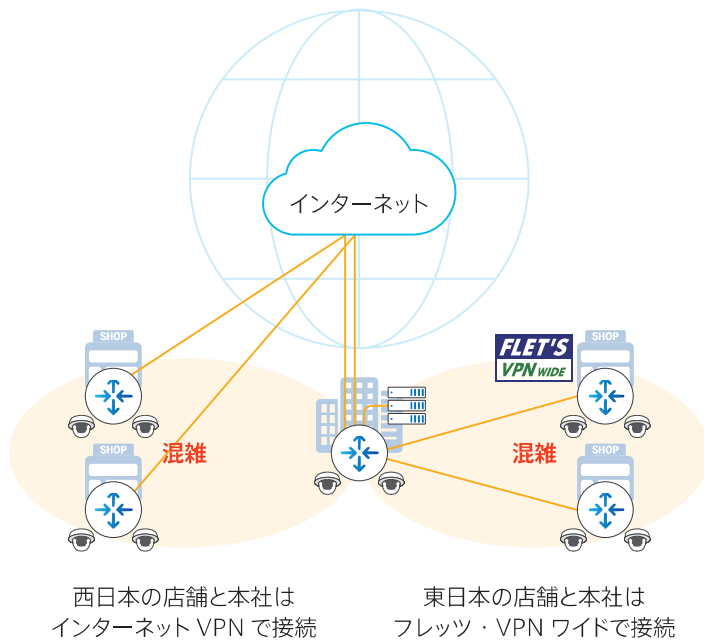
フェラーリやポルシェなどの欧州車を代表に、高級外車の販売、メンテナンス、カスタマイズを手がけるホソカワコーポレーション。お客さまに販売、およびお客さまからお預かりする貴重なクルマを確実に保護するために、多額の費用を投じて、全店舗および倉庫をカバーする最新の監視カメラシステムを導入しました。

ところが、導入後に全拠点で通信遅延が多発。各拠点の監視カメラの画質が大幅に向上した結果、本社の監視カメラサーバに送信するデータ量もまた急増し、業務トラフィックを圧迫するなどの想定外の混雑を招いてしまったからでした。

ホソカワコーポレーション 情報システム担当の深浦玄太氏は、当時の状況について次のように語ります。「とりわけインターネット VPN で本社の監視カメラサーバと接続する西日本の拠点では業務システムの利用にも影響があり、やむなく監視カメラの使用を中断せざるをえないほどでした」

そこでまず深浦氏が相談したのが、フレッツ・VPN ワイドの利用などで良好な関係にあった NTT 東日本です。

「何かあったときには気兼ねなく相談しやすい関係にあったので、まずは東日本の拠点で導入済みのフレッツ・VPN ワイドを西日本の拠点にも導入することを念頭に相談しました」



Managed SD-WAN 導入前

提案

Managed SD-WAN を含む「松」「竹」「梅」3 パターンから選択

深浦氏からの相談を受けて NTT 東日本が用意したのが、「Managed SD-WAN」「フレッツ・VPN プライオ + 東西接続オプション」「フレッツ・VPN ワイドに東西接続オプションを追加」の松竹梅 3 パターンを比較および選択できる提案です。

提案のポイントは次のとおりです。

- 監視カメラシステムのトラフィックを考慮すると、IPv4 PPPoE のフレッツ・VPN ワイドでは混雑が解消しない。一方、IPv6 IPoE のフレッツ・VPN プライオと Managed SD-WAN となら、高速かつ安定した通信を実現できる。

- 一見して安価なのはフレッツ・VPN プライオだが、西日本の拠点を接続するために必要となる東西接続サービス費用を考慮すると、Managed SD-WAN と費用がほとんど変わらない。
- Managed SD-WAN なら、インターネットブレイクアウトによって将来的なトラフィック増にも対応できる。

これらのポイントが響いただけでなく、深浦氏によると「東西の拠点で統一したサービスを利用できること」もまた、選択に当たって重視したそうです。

パターン	松	竹	梅	
サービス				
接続方式	IPv6 IPoE	IPv6 IPoE	IPv4 PPPoE	
価格帯	11,000 円～ / 拠点	7,700 円 / 拠点	1,980 円 / 拠点	
拠点間通信	閉域通信	✓	✓	
	最大スループット	約 750 Mbps	約 750 Mbps	下り最大 200 Mbps ¹
	東西接続	✓	東西接続サービスの契約が必要	東西接続サービスの契約が必要
レンタル機器	VPN 装置 (CPE)	VPN 装置 (CPE)	なし (ルータが別途必要)	
インターネットブレイクアウト	✓			

* 最大スループットは、技術規格上の最大値であり、実際の通信速度は、お客さまのご利用環境（端末機器の仕様など）や回線の混雑状況などにより大幅に低下する場合があります

¹ ハイスピードの場合、仕様上の数値。

効果

監視カメラシステムが本来の能力を発揮

こうしてホソカワコーポレーションでは、本社、倉庫、店舗を含む東西 13 拠点に「Managed SD-WAN」によるネットワークを展開。その導入効果について、深浦氏は次のように回想します。「NTT 東日本さんからは、監視カメラシステムへの投資を無駄にしない、本来の能力を発揮させる最適解としても Managed SD-WAN を薦められたのですが、まさにそのとおりになりました。特に監視カメラの使用を中断せざるをえなかった大阪や名古屋では劇的に変わり、現場での評価も上々でした」



情報システム担当 深浦 玄太 氏

また、監視カメラシステムの課題が解決しただけでなく、副次的な効果も生まれているとのこと。

たとえば、本社で契約している「CPE 予備機サービス」や、その他の拠点で契約している「訪問修理サービス」は、万が一の故障やトラブルの際にも迅速な対応を期待できます。

「お客さまからの問い合わせなど対応時にネットが繋がらず、業務システムを利用できないことが致命的な機会損失になることもありますから、短時間での復旧を期待できる安心感は大きいです」と深浦氏は語ります。

さらに深浦氏によれば、「弊社のような企業規模ではシステム担当が 1 人か 2 人ということが多くと思いますが、通信環境をさらに改善、あるいは向上させる検討などに十分な時間を割くことが難しいという現実があります。たとえば今は、商品・サービス紹介などに活用している動画配信 (YouTube) に関連して現場から通信環境の改善要望が上がっているのですが、そうした内容を口頭で NTT 東日本さんに相談すると対策を提案していただけるので非常にありがたいです」

展望

デジタル化の加速に欠かせないネットワーク基盤として期待

現在は本社に通信を集約する中央集約型でネットワークを構成しているホソカワコーポレーションですが、将来的にはネットワーク構成の変更もありえるとのこと。

「YouTube の件もそうですが、インターネット通信やクラウド通信が極端に増える拠点があれば、その拠点ではインターネットブレイクアウトを採用して通信を分散させることも検討しています。状況に応じてフレキシブルなネットワーク構成が可能なことも、Managed SD-WAN の魅力の 1 つです」と深浦氏は語ります。

また、業界特有の事情として、インターネット通信やクラウド通信の信頼性が、今後はますます重要になるとのこと。

「2024 年 10 月から『OBD 検査¹⁾』が始まります。いわゆる車検の際に、クルマの状態を診断する OBD という装置から得られたデータを利用するのですが、それらのデータは私たち業者がインターネット経由で自動車技術総合機構のサーバに送信する必要があります。そのため、今後はますます通信環境が重要になります。ネットが使えないと整備工場が機能しませんから」

このように、自動運転のような世間の注目を集める技術に留まらずデジタル化が加速する業界にあって、ホソカワコーポレーションを舵取りする代表取締役の細川恵多氏は次のように語ります。

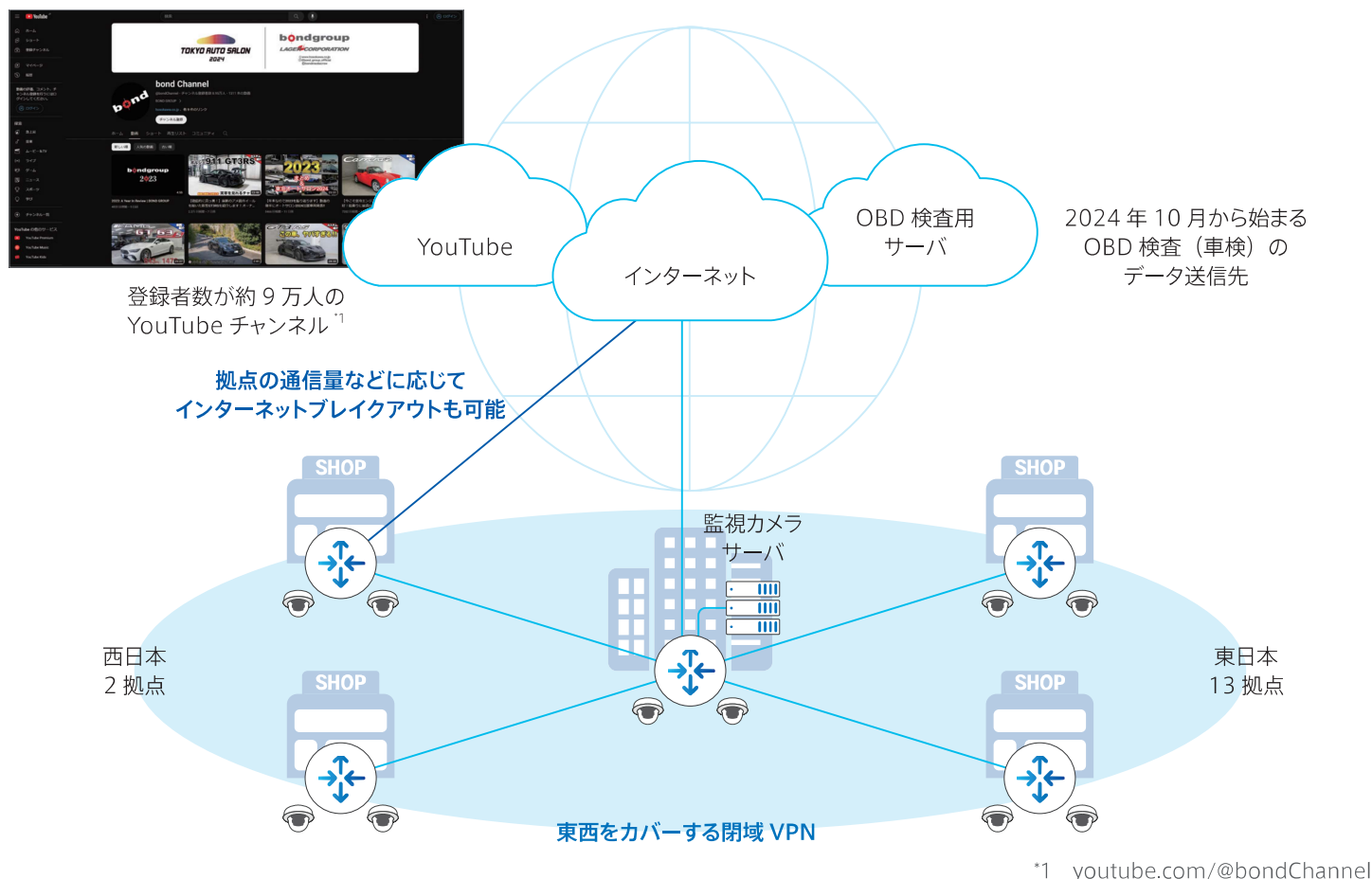
「私たちは、本来の業務に限らず先進的な技術や着想を取り入れてきました。早くからブログなど SNS を活用し、現在は登録者数が約 9 万人の YouTube チャンネルを運営するなど、先見性をもって IT を取り入れてきたと言えます。今回、監視カメラシステムの問題をきっかけにネットワークを刷新することになりましたが、先を見据えたネットワーク基盤としても Managed SD-WAN を評価しました。NTT 東日本とシスコには、今後も先見性を予感させる提案を期待します」



代表取締役 細川 恵多 氏

¹⁾ 詳細は、独立行政法人自動車技術総合機構「OBD検査ポータル」(www.obd.naltec.go.jp)。

ネットワーク構成イメージ



株式会社ホソカワコーポレーション

屋号： bond (ボンド)
本社所在地： 埼玉県さいたま市桜区栄和 4-1-1
創立： 1949年
資本金^{*1}： 1,000万円
拠点数^{*1}： 17 (東日本 13^{*2}、西日本 2^{*3}、海外 2)
従業員数^{*1}： 110



ホソカワコーポレーションの屋号「bond」
「つなぐ」「融合」の意

*1 2024年1月現在。 *2 NTT東日本のサービス提供地域。 *3 NTT西日本のサービス提供地域。

- 本事例の導入開始時期は2022年1月です。
- 本事例に記載の組織名・所属・肩書き・取材内容などは、すべて2024年11月時点(インタビュー時点)のものです。
- 本事例に記載の導入効果はあくまでも一例であり、すべてのお客さまについて同様の効果があることを保証するものではありません。

お問い合わせ先

Managed SD-WAN 公式サイト

business.ntt-east.co.jp/service/sd-wan

Managed SD-WAN

